静岡がんセンターで診療を受けられる皆様へ

当院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の連絡先へお問い合わせ下さい。

① 対象者	2010年に当施設で腋窩リンパ節郭清術を含む腫瘍摘出術を行い、周術期作								
	2010年に当地改て版高リンパ即郭涓間を占む腫瘍間山間を打り、同間知に 業療法を行った乳癌患者								
②研究課題名	The relationship between the anxiety to use ipsilateral limb and								
	ipsilateral shoulder active range of motion and instrumental daily								
	living activities after breast cancer surgery								
	(乳癌術後患者の不安が肩関節可動域や手段的日常生活動作に及ぼす影響に								
	ついて)								
③実施予定期間	承認日			~	2018	年	6	月	
③ 実施機関	静岡がんセンター								
⑤研究代表者	氏名	加藤るみ子	所属	静岡がん	センター	リハヒ	ごリテー	-ション	科
⑥当院の研究代表者	氏名	加藤るみ子	所属	静岡がん	センター	リハヒ	ごリテ -	-ション	科
⑦使用する検体・データ	電子カルテ情報								
8目的	乳癌術後患者は術後肩関節可動域制限や手段的日常生活活動(以下、IADL)に								
	支障を生じることがある。また同時に、術後、患肢を動かすことに対し不安								
	を感じている患者もしばしばいる。本研究では、乳癌術後患者の不安が上肢								
	機能やIADLに及ぼす影響を調べることを目的とする。								
⑨方法	27 例を術後に「不安がある」と答えた群(以下、不安あり群)14 例と「不安								
	がない」と答えた群(以下、不安なし群)13例に分類する。評価時期は術前と								
	退院後初回外来、評価項目は、上肢機能については肩関節可動域、日常生活								
	動作については Frenchay Activities Index を用い、不安あり群と不安なし								
	群の二群間で比較する。								
⑩倫理審査	倫理智	客 查委員会承認		20)18 年	4	月	23	В
⑪公表	研究成果は学会や医学論文などに発表されることがあります.								
⑫プライバシー	本研究では、名前・住所・電話番号等の個人情報は使用しません。								
③知的財産権	知的財産に関する権利(特許権等)は、静岡がんセンターに属します.								
⑭利益相反	本研究は企業との共同研究ではなく、企業からの資金提供もありません.								
⑤資料の参照	本研究について詳しく知りたい場合は、臨床研究事務局までご連絡ください。								
16問い合わせ	連絡兒	臨床研究	事務局	電話	055-989	9-522	2 (内部	線 3379	9)
	事務局にて, お問い合わせ内容をお伺いいたします.								
	後日、あらためて研究者より直接回答いたします。								

本研究のノウハウやアイデアに関する情報については公開できませんのでご了承下さい。